

## 第1回 松戸市環境未来会議「副市長挨拶 文字起こし」

日 時：令和5年10月15日（日）13：00～17：00

会 場：松戸市民劇場 第2・3会議室

### 副市長挨拶 文字起こし

石和田副市長

皆さんこんにちは。  
副市長の石和田といたします。  
どうぞよろしくお願いいたします。

本日は松戸市環境未来会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。  
たくさんの方に参加していただいて本当にうれしく思っております。

今説明ありましたように、脱炭素社会の実現に向けてこの場で議論していただきたいと考えております。

地球温暖化の問題については、皆様ご承知の通り、世界で大きな問題になっております。  
今年の夏もとっても暑かったと思います。

松戸は梨の産地ですが、秋の梨の代表であります新高が、今年は暑さ、日焼けにより8割方駄目になってしまっています。

また、秋の味覚と言えばサンマですが、最近取れなくなってきております。

災害も増加しており、世界中で山火事が起こるといったことで地球温暖化の影響はあちらこちらで実感でき、非常に大きな問題になってきております。

日本政府は2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロにするということを掲げております。

松戸市も、昨年にゼロカーボンシティという宣言を行い、政府の取り組みに合わせ、2050年までにCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにしていこうと取り組んでいるところでございます。

ただ、これは非常に難しい問題であり、政府や市が頑張り取り組むだけでは達成することはできません。

最終的には、市民一人一人の行動を変えていかなければ、このCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロというのは達成できないと考えております。

そのためには、皆さんの普段の生活から見直していただき、多少不便になるところもあるかもしれませんが、どのように変えていくことができるか、ぜひ皆さん一緒になって考えていただきたいと思っております。

この会議を立ち上げたという趣旨でございますが、今日お集まりいただいた皆さんは、応募し参加いただいたということで、とても問題意識を強くお持ちの方ばかりだと思います。

ただ市民の中には、そのように問題意識を強く持つ人だけでもないわけです。

ここで議論したことをなるべく多くの市民に広げ、やっていかなければいけないと思っております。

最終的には松戸市の50万の市民が一人一人、そういった意識を持って取り組んでいかなければ脱炭素社会っていうのは実現できないものだとも思っております。

非常に長い道のりであると思っておりますけれども、今日はその第一歩ということで、ぜひここにお集まりの皆様で知恵を出し合い、我々もそれを実現できるように、頑張っていきたいと考えております。

今日はどうぞ最後までどうぞよろしく願いいたします。

ありがとうございます。